

事故予防

赤ちゃんの事故はちょっとした気配りで防げます。
事故を防ぐためのポイントをまとめてみました。

- 1 赤ちゃんは何でも口に入れてしまいます。
タバコ・ボタン、電池や小銭、指輪やヘアピン・ピーナッツやあめ玉など
小さいものは赤ちゃんの手の届かないところに置きましょう。

この円の中に
通るものは赤
ちゃんの口の
中に入ります。



- 2 階段や玄関など段差があるところには赤ちゃんが一人でいけないようにしておきましょう。



- 3 テーブルなど家具の角は、コーナークッションなどでガードしましょう。



- 4 テーブルクロスは使用しないようにしましょう。
また、食器やビン、缶など重く壊れやすいもの・お茶、味噌汁、カップラーメン
など熱いものは赤ちゃんの手の届かないテーブルの中央に置きましょう。

- 5 ポットや炊飯器、アイロンは使用后、赤ちゃんの手の届かないところに片付けましょう。



- 6 ストーブやヒーターは赤ちゃんが触れないようにガードして使用しましょう。



- 7 ドアのちょうつがい部分・テレビ台のガラスの扉やビデオデッキのテープ挿入口は、赤ちゃんが手や指を入れないようにガードしましょう。

- 8 包丁、はさみ、かみそり、爪切りなど刃物は使用したら必ず子どもの手の届かない場所に片付けましょう。



- 9 一人で浴室に入れないようにロックしましょう。
また、入浴中赤ちゃんを一人にしたままにせず、入浴後は浴槽のお湯は抜いておきましょう。



事故が起きてしまった時あわてないためにも、かかりつけの病院や緊急時の連絡先を電話のそばに貼っておきましょう。